

明治二十九年二月二十八日午後二時四十五分開議

○委員長(石田貫之助君) 第六回ノ會議ヲ開キマス、本日ハ第三章農工債權  
○(河島醇君) 本員ハ昨日マダ質問ガ、委員長ノ御宣告ニ依ツテ營業ノ分ノ  
質問ヲ殘シマシタカラ是カラ……

○委員長(石田貫之助君) ソレハ昨日一日營業ノ分ハ仕舞ヒニナツタト宣告  
シタ所デ河島君ハマダ殘ツテアルト云フコトデゴザイマシタガ、既ニ一旦宣  
告シタ後トデアリマスカラ、先ヅ第三ニ移ツテ、マダ後ニ至ツテ御質問ナサ  
ツタ宜カラウト思ヒマス

○(河島醇君) 然ラバサウ致シマス

○政府委員(添田壽一君) 御便宜ノタメニ極ク簡略ニ申上ゲテ置キマスガ、  
昨日熟考ノ上御答申シマスルト申上ゲマシタル營業區域ノ解釋ハ、即チ其營  
業致シマスル土地並ニ資本投下ノ場所モ同一區域デナケレバナラヌト云フ解  
釋デアリマシテ、初メ私が申上ゲマシタ通りニ意志ヲ決定致シテ居リマスカ  
ラ、此段御含置ヲ願ヒタイ、又序ナガラ申シテ置キマスガ、第四號ノ速記録  
ノ末ニ於キマシテ、河島君ノ御尋ニ對シ「所謂借替ノ場合ニハ割増ヲ附スルコ  
トハ出來マイト思フ」ト云フ御尋ニ就キマシテ「サウテス出來マセヌ」トゴ  
ザイマスケレドモ、是ハ或ハ補フタメニ以前ノ割増金ヲ增加スル、別ニ割増  
金ヲ附ケルカノヤウナ考ヘデ、出來マセヌト申上ゲマシタガ、既ニ其前ノ御  
尋ノ時ニ申上ゲテ置キマシタ如ク、割増金ハ豫メ約シテアルコトデアリマス  
カラ、所謂借替ノ場合ト雖モ、割増金ハ勿論將來ノ債券ニ於テモ適當ノ割増金  
ヲ附ケルコトハ勿論デアリマスカラ、私ノ以前ノ答ガ宜シキヲ失ツテ居リマ  
ス故ニ、補ヒ旁々申上ゲテ置キマス

○(工藤行幹君) 今ノ附則ノ御答——割増ノ事ニ就イテノ御答ニ就イテ一寸  
御尋致シタイ

○委員長(石田貫之助君) 先ヅ第三章ノ質問ニ掛カルト云フコトヲ言ツテ居  
リマスカラ、後ニ往ツテ質問スルコトニシタラ如何デス

○(工藤行幹君) 今政府委員ノ言ハレタコトニ就イテ……

○委員長(石田貫之助君) 此場合ハ第三章ニ就イテ……

○(河島醇君) 本員ハ第三章ノ第二十五條ニ就イテ質問ヲ致シマス、本項ニ  
於キマシテハ同様ナ理由デアラウト思フ、勸業銀行ニ規定シテアルモ文章ハ  
同ジデアアル、併ナガラ農工銀行ハ一切商法ニ規定シタモノデ、役員ノ組織一切  
ガ商法ニ依ルモノデアアル、此理由カラ考ヘテ見ルト是ハドウデアラウカ、或  
ハ精神ガ違ヒハシナイカト思ヒマス、商法ノ第七十八條ニ「株金額拂込以  
前ニ於テハ會社ハ假株券ヲ發行シ全額完納ノ後ニ至リ始メテ本株券ヲ發行ス  
ルコトヲ得」ト云フコトガアリマスガ、此精神カラ言フテ見レバ、此規定ニ

餘程違フテ居ルモノデアアル、何モ議論ヲ致スノデハアリマセヌガ、此ノ如キ  
銀行デアアルバ、一層確メテ、商法ノ上ニモ自由ガ與ヘテアリマシテ、其範圍  
ガ特別ニナツテ居ル、普通ノ商法ハ此銀行ニ基イテ立テ、アル、サウシテ斯  
ノ如ク取除ケガアルハ抑ミドウ云フ理由デアアルカ、又一方ニ於テハ債券ヲ發  
行スルノ特權ガアル者ガ——己レニ持ツテ居ル者ガ假株券デアツテ本株券デ  
ナイ、法律上持タナイモノデアアル、此點ニ於テハドウデアアルカ、此異ナル點  
ヲ悉シク説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(添田壽一君) 御答ヲ致シマスガ、此點ニ於キマシテハ勸業銀行  
モ、農工銀行モ異ナル所ハアリマセヌ、唯文章ノ終リガ少シク異ツテ居ルモ  
ノデ、例ヘバ債券條例明治二十三年法律第六十號ニ據リマスト云フト同一デ  
アリマス、唯今御尋ノ商法第七十八條ニ依ツテ株券全額拂込以前ニ於テハ、  
假株券ヲ發行スルノデアアル、然ルニ己レノ株券ハ未ダ假株券デアリナガラ、  
債券發行力ヲ與ヘルノハドウ云フ譯デアアルカト云フ御尋デゴザイマスガ、商  
法ニ據リマシテモ、全額拂込前ニ於テモ、矢張債券發行ノコトヲ認メテ居ル  
ノデアリマス、即チ所謂明治二十三年ノ法律第六十號ノ債券條例ナルモノヲ  
御覽ニナリマスレバ、其第一條ニ「前略總株券半額以上ノ拂込アリタル後ニ  
於テスヘシ」債券ヲ發行スルニ半額以上デアレバ、商法デモ許シテアルノデ  
アリマス、故ニ未ダ己レノ株券ガ假株券デアルト云フニ拘ハラズ、債券發行  
ヲ許スト云フノハ、是ハ則チ一般ノ規定通りデアリマスガ、唯異ナルノハ商  
法ニ於テハ半額以上デナクテハナラヌ、然ルニ此勸業銀行農工銀行ニ於キマ  
シテハ、過日モ申上ゲマシタル通りノ理由ニ依ツテ、四分ノ一ト云フ拂込デ  
債券ヲ發行スルコトガ出來ルト云フ丈ガ異ナルノデアリマス

○(河島醇君) 續イテ御尋シマスガ、然ラバ其假株ノ時ハ許サナイ、本株券  
ノ時ハ許ス、其効力ガドウカト云フコトヲ御尋シタノデアツテ、之ヲ特別ニ  
四分ノ一ト云フコトガ規定シテアルガ、其區別ハドウデアアルカ、普通ノ考ヘ  
ヲ以テ見レバ、之ヲ尙増サナクチャナラヌ、商法ノ規定モ特ニ完備シテアル  
ノデ、ソレハドウデアアルカト云フ質問ヲシタノデアリマス、併ナガラ其半額  
ト云フコトノ特別ノ規定ハアリマセヌガ、是ニ依ツテ是ハ四分ノ一ト云フコ  
トハ御説明ガアルノデ分ツタ——尙確メテ置クノハ、商法ニ據レバ本員ガ先  
キニモ辯ジマシタ通りデアアル、併ナガラ此半額以上拂込シタ以上ハ、更ニ債  
券ヲ發行スルノ能力ガ開イテアル、商法ニ其半額以上拂ツタ者ニハ特別ノ與  
ヘテアル、ソレニ四分ノ一トセラレテアルノハ、外ニ理由ガナイト云フノデア  
ルカ

○委員長(石田貫之助君) ソレハ今ノ勸業銀行ノ方デ答ヘラレテアル、債券ヲ  
發行スルニハ制度ヲ以テ……

○(河島醇君) ツレハ聞カナイ、特別ニナツテ居ルコトヲ聞クノデ、其働キハ言ハナイ、働キノコトハ更ニ聞カナイ、唯權利ノ特別ナルコトヲ聞クノデ、其タメニ辯明ガアレバ聞キタイト思ヒマス

○政府委員(添田壽一君) 其點ハ既ニ申上ゲタト存ジテ居リマシタカラ、唯今ノ御答ノ中カラ省イテ置キマシタノデアリマスガ、成ルベク御答ノ中デ入ラザルコトハ、議事ノ進行ヲ計リマシテ省クタメデゴザイマシタノデスガ、極ク簡略ニ申シマス、何ガ故ニ商法デハ半額以上ノ拂込ヲ許スノト、四分ノ一ノ時ニ許シタカト云フ御答スレバ宜シウゴザイマセウト思ヒマスガ、ツレハ既ニ過日モ申シマシタガ如ク、此銀行ガ營業ハ一般ノ營業ト同様デアリマス、四分ノ一ノ拂込ガアレバ、出來ルノデアリマス、然ルニ此銀行ノ營業ニ於テハ他ノ會社ト異ナリマシテ、債券發行ノコトヲ四分ノ一デモ許スノ必要ガアルト認メテ、斯ク規定シタノデアリマス

○(河島醇君) ツレハ承リマシタ、宜シウゴザイマス

○委員長(石田貫之助君) 第三章ニ質問ハアリマセヌカ

○(河島醇君) 此第五章ニ就イテ御尋ヲシマスガ、此條項ニ就イテ見レバ何モ異議ハナイ、併ナガラ此權利義務上ニ關係ヲ持ツテ居リマスガ、役員ナガラ此五章ニ就イテ見レバ、ツレデ判然シマシタカラ分ツテ居リマスガ、誰ガ政府カラ監督ヲサレマスノデアリマスカ、此原案ニ就イテ見レバ、何モサウ云フコトハ見ルコトガ出來ナイケレドモ、御差廻シニナツタ所ノモノニ就イテ見ルト、役員組織ト云フコトガ見エテ居ルガ、是ハ普通ノ商法ニ依ツタモノデアルカ、此法案ニ於キマシテハ見エマセヌガ、或ハ商法ニ依ル積リシヤナイカ、又ハ商法ノ規定ニ全ク一任シテアルト言ヘバ、此定款ノ處デツンナコトハナイノデアル、其他ニ比較シテ見ルト、正金銀行ノ制ニ餘程類似シテ居ルヤウデアリマスガ、併シ是ハ法律デ制限ノナイ以上ハ普通ノ商法ニ依ルト云フ積リデアリマスカ、一應御尋ヲ致シテ置キマス

○政府委員(添田壽一君) 唯今御尋ノ通りニ心得テ居リマス

○委員長(石田貫之助君) 第五章ノ質問ハ最早ナイヤウデアリマスカラ、第六章罰則

〔質問ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(石田貫之助君) 第六章モ質問ガナイヤウデスカラ、附則

〔質問ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(石田貫之助君) 是モ質問ガナイヤウデアリマス、サウスルト河島君カラ請求サレマシタ營業ノ部ニ於テ質問ノ残りガアリマスレバ御尋ヲ願ヒ

マス

○(河島醇君) 政府委員ニ御尋致シマス、關聯ヲ致シテ居リマスカラ一緒ニ第七條、第八條及第二十條ニ就イテ質問ヲ致シマス、此銀行ニ向ツテ金ヲ借入ルト云フモノハ、斯ク々々ノ事業ノ目的ガナクテハナラヌ、其目的ガナクテハナラヌト云フコトニナツテ居ル、然ル所ガ第八條但書ニ「但舊債アル場合ニ於テ農工銀行ヨリ借入スル新債ヲ以テ其ノ舊債ヲ償還スル効果ニ依リ新債ノ第一抵當ナルコトヲ得ヘキトキハ此限リニアラス」ト斯ウアル、此…ト云フト、何か外ニ負債ノアルトキ、便利ノタメニ借換ヘヌ場合ガアルヤウデス、決シテ七條ノ目的ノタメニシタノデアリ、然ルニ此但書ヲ以テ見ルト甚ダ了解ニ苦ムガ、是ハドウ云フコトデアアルカト云フコトヲ御尋シマス、ツレカラ二十條ニ關聯シテ居ルハ何處デアアルカト云フト、即チ第七條ノ目的ヲ達スルタメデナクテハ決シテナラヌ、是ヲ外レタ時ハ、二十條ニハ制裁ヲ加ヘヌ、所ガ、第八條ニ照シテ見レバ今申スヤウナ關係、此二十條ハ適用ガ出來ラレナイヤウニ思フ、又七條ノ目的ニ依ツテ二十條ノ制裁ヲ甘シテ金ヲ貸ストキハドウ云フ手順ニナルカ、其手順ハ恰モ豫算ヲ出サナクテハナラヌ、斯ウ云フ豫算ヲ出シテ、其豫算ニ於テ抵當ニナスモノ、實價及其事業ノ目的、其豫算ガ適當デアアルカ否ヤト云フコトヲ講究調査ヲ致シタ結果デナクチャ金ハ貸サナイト云フコトニナル、サウ云フ風ニナルノデアアルカ、又サウ行フツモリデアアルカト云フコトヲ質問致シマス

○政府委員(添田壽一君) 此第八條但書ノ舊債ノ償還ニ關シマシテハ、其舊債ノ起リガ生産ニ屬スルモノデナクテハナラヌ、即チ此法律ノ第一條ノ精神ニ協ヒ、第七條ノ目的ニ適シテ居ルモノデナクテハナラヌト云フコトハ屢々申上ゲマシタ通りデゴザイマシテ、唯舊債デアアルカト云フテ借換ヲ許スト云フモノデハナイ精神デゴザイマス、ツレカラ第二十條ノ適用ガ、サウ云フ場合ニ於テ如何ニ適用セララルカト云フ御尋ノヤウニ解シテモアリマスガ即チ生産ニ起リマシタル負債デアリマスト云ヒナガラ、銀行ナラ資金ヲ借入マシタモノガ生産ニ基カナイ負債ニ向ツテ、其金ヲ償却ノタメニ使用シマシタトキニ於テハ、第二十條ニ觸レルト認メルノデアリマス、第三ノ御尋ノ豫算ノ如キヲ差出サセテ貸付ケルカト云フ御尋ハ至極是ハ御尤ナル御尋デアリマシテ、隨分場合ニ依リマシテハ必ズ繼續豫算ガ出來ルモノバカリトハ申サレマセヌケレドモ、所謂極ク長イ期限ノ貸付デゴザイマスレバ、成ルベク繼續豫算ノ如キモノヲ差出サセマシテ、其事業ノ緩急ニ應ジテ金額ヲ貸付ケルコト云フヤウナ途モ採リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○(河島醇君) 續イテ一寸御尋ヲシマスガ、サウシマス第八條ノ但書ノ場合ハ、若シ負債ヲシテアル其負債ガ、第七條ニ列記シテアル所ノ目的ノタメニ成ツタモノデアアル、既ニ其事ガ成ツテ居レバツレバ貸スト云フ所ガ、其コトガ成ツタ成ラヌト云フコトハ何處デ見分ニナルノデアアルカ、結果ガ一寸見エナイモノガアル、其當時ハドウ云フ現象デアアルカ見エナイ場合ガアル、

是ニ其處ハ合シテ居ルノデゴザイマスカ、而シテ適用ハドウデアラウカト思ヒマスガ、モウ一應承ツテ置キタイ

○政府委員(添田壽一君) 成程第七條ニシロ、最早其事業ガ完成シテ、成績ヲ調べルト云フコトガ随分困難ナル場合モゴザイマセウケレドモ、ソレハ種種ナル證據ヲ集メマシテ、十分認メガ附加ナケレバ第八條但書ヲ適用シナイ譯デゴザイマスカラ、見据ノ附ク附カヌハ事實ノ問題デアラウト思ヒマス

○(工藤行幹君) 私モ御尋シタイト思フノハ、先刻政府委員ノ言ハレル割増金ノコトデゴザイマス、前ノ割増金ヲ返スノハ勿論、後ノ新債ノ方ニ對シテハ相當ノ割増金ヲ附ケル積リト、斯ウ云フコトニ承リマシタ、シテ見ルト前ノモノハ例ヘバ百圓ニ就イテ二十圓附イテモノヲ後カラ出ストキニハ、其時ノ景況ニ依ツテ或ハ九圓ニ減ズルトカ、又ハ參拾圓ニ騰セルト云フコトハ勝手ニナシ得ル積リデゴザイマスカドウデアアルカト云フコトヲ承リタイ、私ガ思フノニ前ノガ貳拾圓デアレバ、一般ノ利子ハ時ニ依ツテ高低ガアリマセウガ、ソレハ何處マデモ貳拾圓デ往カウト思フテ居ルノデゴザイマスカラ、ソレヲ制限スルツモリデアアルカ否ヤト云フコトヲ承リタイ

○政府委員(添田壽一君) 此割増金ハ即チ市場ノ金融金利ノ如何ニ依ツテ定メナケレバナラヌモノデアリマシテ、永久動カスベカラザルモノトハ言ヘナカラウト思フノデアリマスケレドモ、成ルベク濫リニ變更ノ屢々ナイヤウニシナケレバ、第一期債券ト第二期債券ト違ヒマスナレバ、非常ニ錯雜ナル例ヲ事實ノ上ニ生ジマスカラ……併シ數年經過ヲ致シマシテ金利ガ非常ニ下ルトカ、市場ノ金融ガ動イテ來タトカ云フ場合ニハ變ラヌト云フ保證ハ出來マセヌケレドモ、今工藤君ノ御心配ニナルヤウニ、成ルベク是ハ濫リニ動カスベキモノデハナカラウト思フノデス

○委員長(石田貫之助君) 工藤君ハソレデ宜シウゴザイマスカ

○(工藤行幹君) ソレハ矢張り……宜シウゴザイマス

○(大田信一君) 私ハ一應御尋シテ置キタイト思ヒマスガ、六條ノ第四デゴザイマスガ、此所ニ「二十人以上ノ農業者又ハ工業者申合セ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出デタルトキハ五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコト」トアリマスガ、是ハ固ヨリ營業區域内デ、其營業區域内ノ者ガ其区域内ニ設置シテアル銀行ニ向ツテ、此借入ヲ請求スルコトヲ示シテアルコトハ無論デアリマスガ、例ヘバ甲ノ府縣ノ者ガ北海道ナリ何所ナリヘ向ツテ、此農事ノ發達ヲ圖ルトカ、改良スルトカ云フ場合ニハ、是ハ萬許サナイ意デアラウト思ヒマスルガ、單ニ農事ノ改良、或ハ發達ト云フコトニ眼ヲ着ケルト、其請求スル者ニ依ツテハ二十人云々ト云フ所デ、營業區域外ノ者デモ或ハ許スト云フ精神ガアルヤウニモ思ハレマスガ、此點ニ就テ……

○委員長(石田貫之助君) 貴君ハ昨日御缺席デシタガ、ソレハ斷ジテ出來ヌト云フコトデス

○委員長(石田貫之助君) ソレデハ農工銀行補助法案、是ハ全体ヲ御質問ニ

ナルヤウニ……

○(門脇重雄君) 此補助法案ノ第一條デアリマスガ、第一條ノ二項デアリマスガ、關東ニ於テハ巖手縣、長野縣ナドハ大變デス、關西ニ於テハ兵庫縣ノ如キ、是亦大變デアリマス、此三縣ハ四十有餘萬圓モ交付金ヲ受クベキ力ガアル、然レドモ此二項ノ精神ニ依レハ三十萬圓ヲ超過スルト云フコトハ出來ナイ、然ルニ岩手縣ノ資本金ガ六拾萬圓デ、六拾萬圓ヲ以テ農工銀行ヲ建テルト云フコトデス、宜シウゴザイマスカ、岩手縣ノ資本ハ六拾萬圓、此六拾萬圓ノ資本ヲ以テ建ツル農工銀行ニ向ツテ補助スル、是モ第二項ノ精神ニ依ツテ參拾萬圓ノ交付金ヲ受ケルノデスガ、長野縣ハ資本參拾萬圓ヲ募集シテ、從テ參拾萬圓ノ交付金ヲ受ケル、兵庫縣ハ資本九拾萬圓ヲ募集シテ、參拾萬圓ノ交付金ヲ受ケルト云フ様ニ、三段ノ仕方ニ違ヒマスルガ、別ニ差支ハアリマセヌカ

○政府委員(添田壽一君) 此參拾萬圓ト限リマシタノハ、矢張り財源ニ限リガアルカラ、已ムヲ得ズ參拾萬圓ト限リマシタノデゴザイマス、今御述べニナツタ例ノ中デ、他ハ差支ナイト思ヒマスルガ、長野縣ノ參拾萬圓ノ交付ヲ受ケテ、參拾萬圓ノ一般株金額ニ止メルト云フコトハ斷シテ出來ナイノデアリマス、何故ナレバ第二項ノ末ニ「農工銀行拂込資本金ノ三分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ズ」トゴザイマスカラ、ドウシテモ府縣ノ交付金ヨリ二倍、即チ三分ノ二以上ノ持株デナケレバナラヌト云フ規定ガアルノデゴザイマス、詰リ是ハ唯交付金額デ銀行ヲ設立スルノ弊ヲ防グタメニ設ケタノデアリマス

○(河島醇君) 交付金額ノコトデスガ、銀行株券ノ幾分ヲ府縣自ラガ所有スルガ如キ場合ハ矢張り同ジ權利ヲ得ナケレバナラヌ、其性質ハ何カト云フト日本銀行創立ト云フ際ニ、政府ガ株券ノ幾分ヲ所有スルト云フコト、同ジダラウト思ヒマスガ、果シテ然ラバ府縣ガ持ツテ居ル引受株ニ對スル權利ト云フモノハ、其府縣ハ其銀行ニ向ツテ、矢張株主所有ノ權ヲ持タナケレバナラヌト思ヒマスガ、此處ニハ別ニ規定モナイヤウデスガ、町村ノ基本財産ナレバ、其權利ハアルダラウト思ヒマスガ

○政府委員(添田壽一君) 無論規定ハゴザイマセヌデモ、既ニ株主トナルコトヲ得ト云フコトヲ法律ガ認メ、又此交付金ヲ以テ株金ヲ引受ケナケレバナラヌコトニナツテ居リマスレバ、一般株主モ同様ノ權利ヲ有スル譯デアリマス

○(河野岩吉君) 此第一項ニ三十萬圓ト云フ制限ガアリマスガ、此參拾萬圓ヲ超過スルト云フ府縣ハドウノデアリマスカ、御調べハゴザイマセウカ

○政府委員(添田壽一君) 調べハアリマス、參拾萬圓ヲ超過シマスル縣ハ兵庫縣、新潟縣、静岡縣、岐阜縣、長野縣、福島縣、巖手縣、岡山縣、廣島縣、島根縣デアリマス

○(河野岩吉君) 其超過スル所ノ金額ノ總計ト云フモノハドウ位デスカ

○政府委員(添田壽一君) 九拾貳萬千八百六拾貳圓

○(新井毫君) 此交付金ハナンデスカ、營業區ノ勅令ニ依ツテ分割スルヤウナコトガ出來ルト、一府縣ニ參拾萬圓ト極メテ例ヘバ長野ダトカ、兵庫ダトカ、新潟ダトカ云フ大キナ縣ニ、三ツモ農工銀行ガ與レバ引裂イテ是ニ金ヲ交付スル積リデアリマスカ

○(河島醇君) 最後ニ御尋ヲシテ置キマスカ、今ドナタカノ問ニ對スル御答ニ依レバ、交付金ノ總額ハ壹千萬圓ト見ルト云フコトデアリマスカ、其一千萬圓ノ支出方ハドウナルカ、固ヨリ豫算ヲ以テ請求スルデアラウガ、併ナガラ一千万圓ノ交付金ヲ一兩日ノ間ニ支出スルト云フコトハ財政上非常ニ困難デアラウト思ヒマスカ、此事ニ就イテハ國債デモ起ストカ云フ考案デアルカ、府縣ニ斯ノ如キ金ヲ交付スル資金ヲ得ルニハ容易ナル方法ガ政府ニアルカ、承リ得ベクンバ承知シタイ

○(工藤行幹君) 此第一條並ニ第二條ニハ「皆豫算ニ定ムル所ニ從ヒ」ト斯ウアリマスカ、是ハ本員等ノ疑ハ、政府デ或場所ニ於テハ——初メ第一條ノ所ヲ言フナラバ、其地方デチャント相當ナル準備ガ出來テモ、政府ハ金ノナイトキニハヤラナイト云フ丈デ抑制スルタメニ此豫算ニ定ムル所ト書イタノデアライマセウカ、私共ノ疑ウノハ此第二條ノ方ナドニナルト云フト、例ヘバ北海道ニハ若干ノ金ヲヤル、又沖繩縣ニハ若干ノ金ヲ交付スル、ソレカラ拂込資本高ニ對シテハ一箇年百分ノ五ヲヤルト云フコトガ、此法律デ定メテアル以上ハ、或ハ「豫算ニ定ムル所ニ從ヒ」ト云フヤウナコトハイルマイト考ヘマスガ、ドウ云フ譯デ「豫算ニ定ムル所ニ從ヒ」ト書イタノデアリマスカ、ト云フモノハ、若シ其年ニ政府デ豫算ニ定メナケレバ、其設立シタ銀行ハツレ丈ノ補助ナリ何ナリヲ受ケルコトガ出來ナイト云フヤウナコトニナリハシナイカト疑ヒマスカ、之ヲ御尋致シマス

○(坂本理一郎君) 第一條ニ「豫算ニ定ムル所ニ從ヒ」ト云フコトガアリマスカ、此法案ガ成立チマシテモ、本年ノ豫算ニハ見エマセヌガ、是ハ公然二十年九年度ニハ此法案ヲ施行シナイト云フ御意見デアリマスカ

○(田口卯吉君) 唯今ノ御答辯ニ依ツテ尙疑ヒヲ起シマシタガ、一府縣一農工銀行ヲ許スト云フ御主意デスカ、補助金ヲ貫ハナイデア宜シイカラ、農工銀行ヲ立テタイトコウ云フ要求ガアルト、サウスルト幾ツモ御許ニナリマスカ

○(田口卯吉君) 今ノ質問ノ主意ハ、補助金ヲ貫フ主意デナイ、追ツテ戴クケレドモ、今國庫ニ差支ガアツテ出來ナイナラ、追ツテ戴クガ其前ニ許シテ戴キタイト云フ請求デス、是ハ許シマスカ

○(田口卯吉君) 唯今ノ御答辯ニ依ツテ尙疑ヒヲ起シマシタガ、一府縣一農工銀行ヲ許スト云フ御主意デスカ、補助金ヲ貫ハナイデア宜シイカラ、農工銀行ヲ立テタイトコウ云フ要求ガアルト、サウスルト幾ツモ御許ニナリマスカ

○(坂本理一郎君) 此追加豫算ノ概算ガ御分リニナリマスカ

○(政府委員(添田壽一君)) 先ヅ極ククダシイ科目ハ是ハ申上ゲル必要ガナイト思ヒマスカ、三十年度カラ三十四年マデ、年々貳百萬圓ト云フ以內ニ於テスル積リデアリマスカ

○(大田信一君) 一應御尋シテ置キマスカ、此第二條ノ末條ニアリマスカ北海道農工銀行ノ補助及沖繩縣ノ農工銀行ニ對スル補助金ハ、是ハ矢張此各府縣ニ多クスル所ノ、百町歩ニ就イテ七拾圓以內トカ何トカ云フヤウナ目安ニ適當ヲシテ居ルヤウナ金額デアリマスカ、又他ニ此權衡ヲ取ツテ矢張是ト均シイ標準ヲ立テ、アリマスカ、一應……

○(政府委員(添田壽一君)) 御承知ノ通り、北海道ハ未ダ今日純然タル民有地ト云フモノハ甚ダ少サイ、所謂開墾貸下年限中ノモノデアリマスカ、亦沖繩縣モ昨日申上ゲマシタ如キ、土地制ノ甚ダ不完全ナ所デゴザイマスカ、民有反別ト云フモノヲ標準ニシヤウノナイモノデアリマスカ故ニ、唯今仰セラレマシタ如ク、大凡北海道ハ内地ノ一番大キナ縣、沖繩縣ハ小サナ縣ノ標準ヲ取ツテ元金ニ相當スル利子丈デアルコトニナリマスカ

○(工藤行幹君) 唯今ノ所デ一寸分ツタヤウデアリマスカ尙明瞭ニ承リタイ、沖繩縣ヲ五千圓トシテ北海道ヲ貳萬五千圓トシタ、此數ヲ限ツタノハドウ云フ比較デ御取調ニナツタカト云フコトヲ承リタイノデアリマスカ

○(政府委員(添田壽一君)) 唯今申上ゲマシタ如ク、内地ノ一番大キナ縣ガ殆ド制限ヲ置キマセヌナラバ五拾萬圓バカリ受取ルト云フコトニナルノデ、小サナ縣ガ拾萬圓内外受取ルヤウニナルノデアリマスカ、其即チ貳萬五千圓ハ五拾萬圓ノ五朱ノ利ト見マシテ、五千圓ハ拾萬圓ノ五朱ノ利子ト認メタニ過ギナイノデアリマスカ

○(田口卯吉君) 一寸伺ヒマスカ、此農工銀行ノ設立ヲ餘程各府縣デ毎日急グヤウナ機運ニナツテ居リマスカ、國庫ノ方デハ此補助ノ金額ガ直グニ出來ヌタメニ、各地ノ農工銀行ハ補助ガナクとも、補助金ハ追ツテ戴イテモ宜イカラ、先ヅ創立シテ此債券發行ノ特典ヲ得タイト云フ請求ガ出ナイトモ言ハレマセヌガ、サウ云フ場合ニハドウ云フ風ニ御取扱ニナリマスカ

○(政府委員(添田壽一君)) 幸ニ補助金ニ關係ナクシテ出來ルト云フコトデゴザイマスカ、強チ設立ヲ拒ムト云フ必要ハアルマイト考ヘマス

○(田口卯吉君) 今ノ質問ノ主意ハ、補助金ヲ貫フ主意デナイ、追ツテ戴クケレドモ、今國庫ニ差支ガアツテ出來ナイナラ、追ツテ戴クガ其前ニ許シテ戴キタイト云フ請求デス、是ハ許シマスカ

○(政府委員(添田壽一君)) 許シマス

○(田口卯吉君) 唯今ノ御答辯ニ依ツテ尙疑ヒヲ起シマシタガ、一府縣一農工銀行ヲ許スト云フ御主意デスカ、補助金ヲ貫ハナイデア宜シイカラ、農工銀行ヲ立テタイトコウ云フ要求ガアルト、サウスルト幾ツモ御許ニナリマスカ

○(政府委員(添田壽一君)) 唯今ノ御答辯ニ依ツテ尙疑ヒヲ起シマシタガ、一府縣一農工銀行ヲ許スト云フ御主意デスカ、補助金ヲ貫ハナイデア宜シイカラ、農工銀行ヲ立テタイトコウ云フ要求ガアルト、サウスルト幾ツモ御許ニナリマスカ

○(坂本理一郎君) 此追加豫算ノ概算ガ御分リニナリマスカ

○(政府委員(添田壽一君)) 唯今ノ御答辯ニ依ツテ尙疑ヒヲ起シマシタガ、一府縣一農工銀行ヲ許スト云フ御主意デスカ、補助金ヲ貫ハナイデア宜シイカラ、農工銀行ヲ立テタイトコウ云フ要求ガアルト、サウスルト幾ツモ御許ニナリマスカ

○(坂本理一郎君) 此追加豫算ノ概算ガ御分リニナリマスカ

限ルノデアリマス

○(眞館貞造君) 第三條デアリマスガ、第一條ノ交付金ト云フモノハ、府縣ノ收入ニナルト云フヤウニナツテ居リマス、府縣ノ收入ト云フコトハ地方税ノ方ヘデモ何か組込ムヤウナコトニナリマスカ、サウスルト自然縣會ノ決議デモ經テシマスカ、第七條ノ方ニハ縣會ト云フコトガアリマスガ第三條ニハコレノ場合ノ外使ハレヌト限ツテアルカ、一體府縣會ニ付スル都合デアリマスガ、手續上ノコトヲ承リタイ、府縣廳ト云ヒマスカ、府縣會デスカ

○政府委員(添田壽一君) 説明ノ全體ヲ御覽ニナリマシタナレバ、別段申上ゲル迄モナカラウカト思ヒマス、其府縣收入トハナリマスケレドモ、所謂法律ガ其用途ヲ指定シタ金デゴザリマスカラ、一般府縣ノ經濟ノ中ニ混入スルコトハ出來ナイノデ、事實府縣ガ一ノ特別會計ノヤウナモノヲ立テナケレバナラヌカト思ヒマス

○(眞館貞造君) 別段縣會ト云フモノニハ關係ハナイノデゴザイマスカ

○政府委員(添田壽一君) 縣會ト云フモノハ矢張關係シナケレバナナルマイト思ヒマス、特別會計ト云フ風ニシナケレバナラヌト云フコトヲ御認メニナリマスレバ宜シイ

○委員長(石田貫之助君) 最早質問モナイヤウデアリマスカラ、今日ハ閉會ヲ致シマス

午後三時三十四分散會

明治二十九年二月二十九日印刷

明治二十九年二月二十九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局